

浦安鐵鋼団地景況実感調査結果表
(平成23年11月分)

ご協力ありがとうございました。平成23年11月分の結果をお送りいたします。よろしくご査収ください。

調査対象 166社 回答 152社 回答率 91.6%

調査項目	前 月 比						前 年 同 月 比					
	10%以上 増加・上 昇・好況	やや 増加・上 昇・好況	横這い ・平常	やや 減少・下 降・不況	10%以上 減少・下 降・不況	計	10%以上 増加・上 昇・好況	やや 増加・上 昇・好況	横這い ・平常	やや 減少・下 降・不況	10%以上 減少・下 降・不況	計
売上数量	13社 8.6% (12.3)	34社 22.5% (24.5)	58社 38.4% (36.1)	34社 22.5% (18.1)	12社 7.9% (9.0)	151社	26社 17.6% (21.6)	37社 25.0% (22.9)	43社 29.1% (34.0)	24社 16.2% (12.4)	18社 12.2% (9.2)	148社
売上高	13社 8.6% (12.8)	34社 22.4% (24.4)	54社 35.5% (35.3)	35社 23.0% (20.5)	16社 10.5% (7.1)	152社	26社 17.4% (22.1)	41社 27.5% (25.3)	40社 26.8% (31.8)	25社 16.8% (12.3)	17社 11.4% (8.4)	149社
在庫数量	4社 2.7% (4.0)	26社 17.6% (16.0)	76社 51.4% (55.3)	37社 25.0% (20.0)	5社 3.4% (4.7)	148社	16社 11.1% (10.8)	30社 20.8% (19.6)	62社 43.1% (47.3)	27社 18.8% (15.5)	9社 6.3% (6.8)	144社
販売単価	0社 0.0% (0.7)	7社 4.8% (6.6)	96社 65.3% (69.5)	39社 26.5% (20.5)	5社 3.4% (2.6)	147社	5社 3.5% (3.4)	40社 28.2% (28.4)	65社 45.8% (50.0)	27社 19.0% (14.2)	5社 3.5% (4.1)	142社
収益状況 (粗利)	6社 4.0% (5.8)	25社 16.8% (16.2)	71社 47.7% (51.9)	38社 25.5% (18.2)	9社 6.0% (7.8)	149社	11社 7.6% (10.5)	35社 24.3% (23.7)	57社 39.6% (41.4)	30社 20.8% (15.8)	11社 7.6% (8.6)	144社
稼働率 (生産・加工設備)	7社 5.9% (8.9)	18社 15.1% (20.3)	67社 56.3% (49.6)	21社 17.6% (17.1)	6社 5.0% (4.1)	119社	12社 10.3% (11.6)	32社 27.4% (25.6)	43社 36.8% (45.5)	18社 15.4% (12.4)	12社 10.3% (5.0)	117社
入出庫の トラック台数	5社 3.5% (6.1)	19社 13.3% (20.4)	85社 59.4% (53.1)	31社 21.7% (16.3)	3社 2.1% (4.1)	143社	11社 7.9% (11.9)	32社 23.0% (21.0)	58社 41.7% (49.0)	27社 19.4% (11.9)	11社 7.9% (6.3)	139社
	現在の景況感						3ヶ月後の景況予測					
	3社 2.1% (2.1)	13社 9.1% (9.7)	61社 42.7% (47.6)	35社 24.5% (21.4)	31社 21.7% (19.3)	143社	2社 1.5% (0.0)	26社 19.1% (17.0)	80社 58.8% (51.8)	23社 16.9% (28.4)	5社 3.7% (2.8)	136社
特記事項	今月も各品種の〔特記事項〕が数多く寄せられましたので、別送にてお知らせいたします											

- 注 ①調査対象会社数は浦安に事業所の無い会社（不在地主など）は除外してあります
 ②()内の数字は前月のパーセントです
 ③結果表は全品種の動向として集計し、品種別の要因を取り上げる必要がある場合は
 特記事項欄に別途記載いたします
 ④本調査の宛先等の変更は、浦安鐵鋼団地協同組合事務局までご連絡ください
 事務局 TEL：047-350-5311 FAX：047-350-5316

景況実感調査（11月） 特記事項

毎月、景況実感調査にご協力頂きましてありがとうございます。集計結果は別紙にてお送りしましたが、今月もたくさんのコメントを頂きましたのでお送りします。ご査収下さい。

[お断り]毎月のコメントはあくまで個々の“生の声”です。業界全体の標準的見解とは、若干異なる場合もあります。また、不適當な表現やわかりにくい表現については書き直しております。信用問題にかかわるものも原則として掲載しておりません。

薄板・表面処理鋼板

- ① 首都圏を中心に物件が有り、各需要家に動きがあるようだ。今後、市中にどのような影響が出るか期待感はある。ただ、現時点で言うと東鉄の値下げや輸入材の影響が強く、市中はまだまだ弱含みである。販売価格は何とか維持していきたい。
- ② 東日本大震災後のインフラ関連の引合い件数が漸増しつつあり、着工停止中の建築物件の再開件数も徐々に増えつつあり、回復への胎動を感じつつある。第三次補正予算も漸く成立し、復興需要への環境も遅まきながら整ってきたので期待したい。当然、欧州のユーロ危機、中国の成長エンジンの減速、米国景気の二番底等予断を許さないが...
- ③ 業種により景況感に差はあるが、建築が最悪期を脱し、緩やかな回復基調にある。昨年同時期とは明らかに違って来ている。この流れはしばらく続くと思われ、復興需要へつながることを期待したい。一方、供給面では、国内、輸入材共に過剰供給が続いており、市況は弱含みで推移、反転は容易ではなく、メーカー、流通共に採算の維持に振り回されている。
- ④ 特約店は販売減少が止まらない。在庫意欲が無い状況の中、鉄鋼商社等による格安販売がある。
- ⑤ タイの洪水の影響により、自動車関連の需要家からの注文が激減した。その分をトラック、建機、設備関係ユーザーでカバーできた。震災復興の案件も増えて来ている。
- ⑥ 新商品のリリース等の要因もあり、好調に推移し、売上は今期最高を記録することができた。12月はその流れも平常化して来ており、一喜一憂というところか。三次補正の成立に続き四次補正も途切れなく執行されれば東北三県以外にも、復旧、復興関連事案は継続的に期待できるのではないか。仙台市は復興のコントロール地でもあるが、ここ2~3ヶ月はかなり盛況で、バブル化している業種もある。このパワーを取り込みたい。一年を振り返って、津波、台風15号、タイの洪水と水難の年であった。先人曰く「いつまでも有ると思ふな親と金、無いと思ふな運と災難」。来年も頑張りたい。

中板

- ① 小口の引取りが多く、トラックの台数の割にトン数が伸びない。荷揃えのため急ぎが多く作業は慌ただしい。客先の温度差も拡大している模様。
- ② 11月の販売量は前月比横這いとなる。荷動きは低迷の域を脱せず、在庫コストから採算的に厳しい環境が続く中、メーカーの更なる大幅値下げが市況の混迷に拍車をかけているのが現状。安値の価格競争が散見される中、無理な商売は避けているが、客先の指値に合わさざるを得ない物件もあり苦慮している。需要回復が期待できない中、輸入コイルの増加もあり、市況の建て直しは相当な時間が掛かると予測している。

厚板

- ① 当月は6割以上が土木関係の加工であるが、新規橋梁の加工も順次立ち上がって来ており、全体的に増加した。下期に入って、今年度入札の橋梁の引合いが増えて来ており、また、端境期であった鉄骨も今後出件予定で、この後、春先頃までは高い山積み状態で推移する予定である。一方で、厚板は造船、輸出等が減少して来ており、足下、相当需給が緩和されて来ている。また、価格的にも需要の減少に加え原料価格の下落等もあって先行き不透明感が強くなって来ており、切板価格にも影響が出て来るものと予想される。

一般開形鋼

- ① 今月は前月比で営業日数1日減なるも、売上高等は前月を上回った。9月以降の回復傾向を裏付ける動きであり、先行きについても自信を深めるものである。短納期、小口デリバリーの集大成であり、とりたてて大口物件も無い代わりに、取引先ユーザーにはそこはかと無しに仕事は入っているようだ。
- ② 震災以降、現場が延びていて、現在は突貫工事に入っているが、職人不足になっている。

HI開形鋼

- ① 電炉メーカーは2ヶ月連続で5円/kg 販値下げの発表で、現状、荷動き低調の中、市況は下降気味になっているが、直近、メーカー購入スクラップ価格が上昇気味で、そろそろ底値が見えて来たか。
- ② 下げが続いた市況もようやく下げ止まりの感がある。引合いも少し増加しそうである。ただ、不需求期に変わりはないのであるから、大きな期待は持たないほうが良い。

異形棒鋼

- ① 店売り現物商売は11月度もそこそ動きが良かった。東鉄の12月度下げもあったが、手持ち在庫、枠ともに高値で相場は1円/kg がた下がった程度。

平鋼

- ① 在庫も一段落し、荷動きも若干増となった。価格は弱含み気配であるが、スクラップも反転して来ており様子見。

鋼管

- ① 11月は予想より良い結果だったが、市況は軟化しそうな気配である。12月は金額、数量ともに、稼働日数減分落ちると思われる。

構造用鋼

- ① タイの洪水等により商社等是对応に追われている。一方、円高、現地生産化が進むにつれて特約店、二次店等は商いが限定的になって、厳しい環境になりそうである。
- ② 需要環境については、自動車関連の紐付は足下まだ堅調だが、先行きの不透明感が強くなっている。建設機械関連は足踏み状態が続いており、また、仲間売り等の店売りは減少傾向となっている。市況については、需要環境の変化もあり、弱含みとなっている。

その他

<軽天材>

- ① 荷動きについては、わずかに上向き。販価改善にはなかなか繋げ難いが、収益もまず売ってから対策を考えるという姿勢でいる。改善実施にはかなり時間を要すると見込まれるが、根気強く理解を求める。

<曲げ加工>

- ① 今月は前月と比較すれば、加工売りはやや減少したが、まとまった物件が少し多かったのと、支給材加工が多かったため、粗利益的には前月を上回った。ここ10月、11月と夏場より仕事量が増えたものの、果たしてこのまま維持出来るか、また、一時的なものか疑問がある。全般的にはまだ動きが鈍いように思われる。

<金属表面処理加工>

- ① 11月は紐付き、物件物とも計画通り。スポットは中旬以降、扱い量増にて推移。仕様の厳しい付加価値の高い加工が多くなり、平均単価が上昇。12月も同様に先物件の見積りも多く、年末にかけて高操業を維持できそうである。